

「身近に広がる貧困」（人権課題：ホームレスの人々等）

1 学習のねらい・人権教育の視点

- (1) 「ホームレス」に至る理由は、企業の倒産や病気、怪我、介護などさまざまな背景があり、自分にも起こりうるということを理解する。
- (2) ホームレスや経済状況が厳しい家庭の子どもに対して必要な支援や、すでに行われている取組、利用できる相談先、支援制度等についての知識を身につける。

2 指導上の留意点

- (1) 子どもの貧困についての学習の際には、生活保護の対象となっている家庭の生徒もいると考えられるため、自尊心を損なうことのないよう配慮する。
- (2) ホームレスや子どもの貧困について、「貧困」という共通点やSDGs1の「貧困をなくそう」との関連を意識させ、自分にも関係ある課題としてとらえさせる。
- (3) 貧困については、生まれた環境で生活レベルや教育の機会が決まるのではなく、貧困の連鎖を断ち切る機会や方法があるということを理解させる。
- (3) ホームレスや若者の貧困については、ワーキングプアやネットカフェ難民などについても触れ、貧困が見えにくくなっているということにも留意する。

3 展開例

学習活動	指導上の留意点、使用する資料
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">貧困と聞いてイメージすることは何だろうか。</div>	
1 イメージしたことを、近隣の席で出し合う。	○ 生徒の挙げた事項に触れながら、海外の発展途上国の事例、ホームレス、貧困に関する調査結果の報道などを紹介する。また、幅広い人々に関するものであることに気づかせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">ホームレスになる人の理由とはどのようなものだろうか。</div>	
2 「ホームレスの体験談」や資料2の表から、それぞれの理由についてどのような印象をもったか考えさせる。	○ 介護、病気の影響によるリストラ、いじめ(ハラスメント)、高校中退などを確認するとともに、特別な事情でなく自分も含め誰でもホームレスになりうるということに気づかせ、差別や偏見の予防につなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">貧困が子どもに及ぼす影響とはどのようなものだろうか。</div>	
3 資料3・4を参考に、経済的に苦しい場合に起こりうる状況を想像する。(食べるもの、着るものに困る、好きなものが買えない、遊びに行けない、進学が難しい、など)	○ 資料3から、子ども食堂の増加しており食事・栄養の面で影響が考えられることや、資料4から、進学や自己実現の面での影響が考えられることに気づかせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">貧困の連鎖を断ち切るために、どのような取組が行われているだろうか。</div>	
4 社会保障など公的な制度や取組の他、身近な地域で行われている、またはできそうな取組について、調べる。	○ 困ったときの相談先や制度の周知の他、どのような境遇や状態であっても、貧困の連鎖を断ち切る機会や方法があるということに気づかせたい。